全国公立学校教頭会通信　NO. 13

きずな

発行　令和８年１０月吉日
全国公立学校教頭会
電話：　03-3436-4868
Mail：　zenkokyo@kyotokai.jp
HP：　https://www.kyotokai.jp

「子供たち一人ひとりに対するきめ細かな教育の実現へ！」
～教職員定数の改善や働き方改革・処遇改善を求め、教育関係 23 団体が永田町に結集～

令和 8 年 10 月 27 日(火)、東京・永田町の星稜会館において、「子供たち一人ひとりに対するきめ細かな教育の実現のための学校における働き方改革及び指導・運営体制の充実等を求める全国集会」が開催されました。会場には教育関係者および各党代表者の約 300 名が参加し、学校現場が直面する課題解決に向け、政府および関係国会議員に対して強く要請を行いました。

１　学校だけに任せず、社会全体で持続可能な教育システムの構築

主催者を代表して、子どもたちの豊かな育ちと学びを支援する教育関係団体連絡会 代表の太田 裕介 氏(公益社団法人日本 PTA 全国協議会会長)が開会挨拶を行いました。太田代表は、自治体での学校業務改善策定の経験を踏まえ、「校長のリーダーシップのもと働き方改革が進められているものの、学校だけに任せていては十分に進まない」と指摘しました。先生方が多忙を極める根底には「教員の数が足りていない」という根本的課題があるとし、社会全体で課題を共有し、力を合わせて持続可能な教育システムを構築していく重要性を訴えました。

２　文部科学大臣が参加、政務三役が揃って出席



本集会には、文部科学省より関芳弘 文部科学大臣、青山周平 文部科学副大臣、山本大地 文部科学大臣政務官の政務三役が揃って出席されました。文部科学省を代表して挨拶に立った関芳弘 文部科学大臣は、日頃の教育活動への感謝を述べた上で、「激動の時代において教育の質を高める鍵は、現場で尽力されている教職員である」と強調しました。そして、公立中学校 35 人学級の計画的整備をはじめとする定数改善計画の着実な推進、指導・運営体制の充実、働き方改革及び処遇改善の総合的な推進、さらに高校教育改革も含め、教職員を支えるため最大限の努力を尽くすとの強い姿勢を示されました。

３　党派を超えて教員の環境改善を支援



来賓挨拶では、各政党の代表者(自由民主党、日本維新の会、国民民主党、公明党、立憲民主党、民主改革の会、社会民主党)が登壇しました。各党代表からは、教員の多忙化解消や教職員定数の改善、給特法改定等を踏まえた処遇改善、教育予算の拡充、さらには学校 DX・AX の推進や専門人材の配置などについて、党派の垣根を超えて協力・推進していく力強い決意が語られました。

４　教育予算の拡充と実効性ある施策の実現を求める

主催者紹介では、本会の大髙珠恵 会長をはじめとする教育関係 23 団体の代表者が紹介された後、全国連合小学校長会の松原修 会長より「アピール案」が提案されました。参加者の満場一致の拍手をもって採択され、関係省庁等へ強力に働きかけていくことが確認されました。



【採択されたアピールの主な骨子（5 つの柱）】

① **指導・運営体制の充実と定数改善**
改正義務標準法に基づく中学校 35 人学級の計画的整備など令和 10 年度までの 定数改善計画の着実な実施、中長期的な検討、高等学校における教員定数の抜本的充実。

② **働き方改革と専門人材の拡充**
いわゆる「3 分類」に基づく業務適正化の徹底、教員業務支援員等の拡充、部活動の地域展開推進、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等の配置充実。

③ **処遇改善と財源確保**
人材確保法や給特法等改正の趣旨を踏まえた教員の処遇改善の着実な実施、根幹 となる義務教育費国庫負担制度の堅持と財源確保。

④ **学校 DX・AX の推進**
生成 AI 等の安全・主体的な利活用や、次世代公務 DX を含む学校 DX・AX の推進。

⑤ **安定的な教育投資の確立**
既存教育予算の削減や付け替えによらない、計画的・安定的な教育財源の確保。